



SUPPORTERS

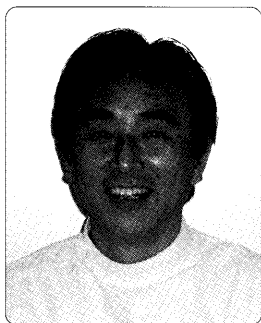
サポーターズ

No.122 2009 夏号

士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 506 名 施設数 92 (5月14日現在)

平成21年度に際して



会長 谷村 英四郎

平成21年度山梨県理学療法士会の活動を開始するに当たりご挨拶申し上げます。

昨年、半田一登協会長の現職として初の来県による特別講演「今」を契機に機運が高まり、山梨県理学療法士連盟(長澤寿昭会長)が平成21年4月に設立されました。士会の強力なパートナーとして今後の活動を期待して止みません。

新年度は、副会長に小林伸一先生・高村浩司先生、事務局長に斉藤智雄先生、学術局長に北山哲也先生、福祉厚生局長に饗場康先生、企画局長に加賀美研先生が新たに、監事の石原正文先生・田村稔先生、並びに清水文彦広報局長と川野正巳社会局長は留任となりました。事務局は甲府城南病院に移動いたしました。今後とも宜しく願い申し上げます。

士会活動は、学術研修活動を主体の展開を予定しています。前年度の学術研修会参加者は平均160名(前年度会員数500名)です。今年度は、200名に達する参加者が見込まれます。又、回復期病棟開設に伴う業務形態の変化による影響から、長年の懸案の会場の収容能力と開催日時等について、受講し易い方向での検討・試行を行う予定です。又、公開講座・企画研修等の会員参加者は、50名以下となっています。感性や社会性・人間性等を自問し啓発するPTとして不可欠な研修と考え、毎回、医療福祉関連の講師を選択しております。今後も会員の「心の琴線」に触れる様なテーマ・講師等を厳選したいと考えています。多くの会員のご参加を熱望いたします。

第46回全国学術研修大会(平成23年10月6日～7日開催)のロゴマークが決定されました。今後のPR活動に有効活用され、会員各位の周知を期待いたします。

最後に、第27回協会賞を石原正文先生(山梨大学医学部附属病院)が授賞されます。心よりお祝い申し上げ、今後の更なるご活躍を祈念申し上げます。

Contents

平成21年度に際して…1
山梨県理学療法士会副会長として…2
会員の皆様に向けて…3
21～22年度山梨県理学療法士会組織図…2～3
平成20年度山梨県理学療法士会総会開催…4～7
各部活動報告…8～9
この日何の日? 気になる日! …10

事務管理局変更のお知らせ…10
トピック「団体総合補償制度費用保険」についてのご説明…11
お知らせ…12～13
会員のひろば interview「小林晴名先生」…14～15
リレーエッセイ Part4…16～17
編集後記…17

「supporters(サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち(造語)の意味です。



山梨県理学療法士会 副会長として

巨摩共立病院 小林 伸一

今期より任期2年間、副会長の任を受けさせて頂くことになりました小林でございます。

まずは長きに渡り理事として、副会長として重責を担われた古屋先生、北沢先生に対し心より敬意を表します。また、局長・部長並びに委員としての任を終えられた先生方ご苦労さまでした。今後とも、士会活動へのご協力・ご指導よろしくお願い申し上げます。

さて、薄学浅識の私が2011年開催の全国学術研修大会大会長をさせて頂く事すらおこがましいのに、その上副会長も・・・となりますと、正直不安で身が細る思いです。しかし、総会で信任を頂いた以上は前副会長が残された功績に新たな一面を重ねられるよう士会発展の為、努力する決意です。幸いに、次世代を担う高村先生と一緒に奮闘して頂けるので非常に心強い限りです。高村副会長と共に谷村会長を支え、士会員特に30歳以下の会員が全会員の約60%を占めている現状を踏まえ、若い会員の意見が反映されるような士会運営をしていきたいと考えています。もう一つ個人的にですが、「次世代へのスムーズなバトン渡し」という課題が私には課せられていると思っています。この任期中にその土台作りを心がけて行動しなくてはいけないとも考えています。いずれにしても、全士会員のご理解・ご協力なくして士会運営は成り立ちません。引き続きご支援頂けますようお願い申し上げます。

山梨県理学療法士会 副会長 小林先生のご紹介

紹介者：河西利昌（巨摩共立病院）

新副会長就任おめでとうございます。当院リハビリテーション室小林伸一室長が新しく山梨県理学療法士会の副会長に就任されました。今回、原稿依頼を受けましたのでご紹介させていただきます。

この難題を依頼されたとき思いました。「今さら室長の紹介って...」。当たり前のことを書くのは簡単です。外見などから一見とても怖そうだけでも実は「とっても優しい人」とか、高知（君）が大好きとか皆様はもうご存知だと思います。

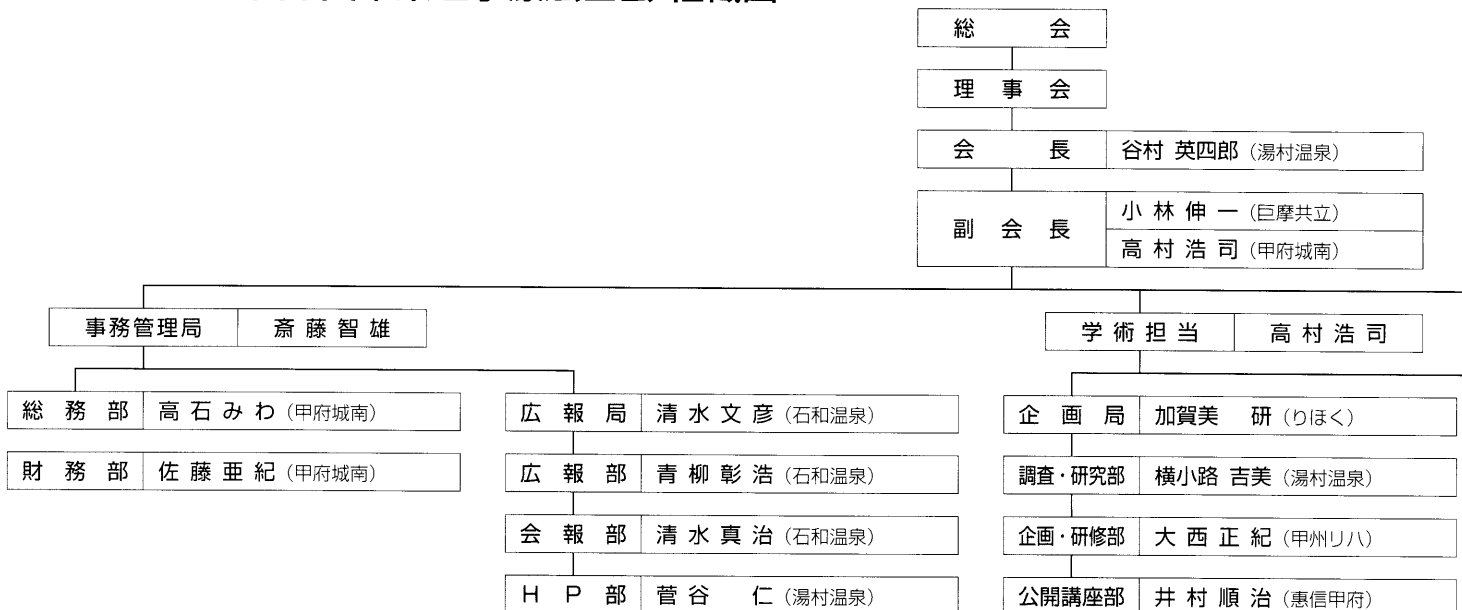
しかしそれで、本当の「小林 伸一」という人物が皆様に伝わるのでしょうか!?

そこで、「小林 伸一」の数あるエピソードをキーワードのみ、紹介させていただきます。このキーワードを持って、室長と話をすれば、もっと「小林 伸一」のことを好きになること間違いなしです!!

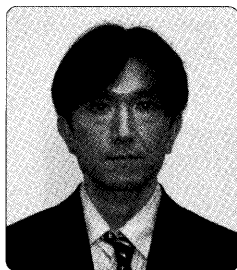
- ① 高校時代の電車の話 ② 高知リハ時代の話（特に野球の監督との）
- ③ 奥さんとの出会いや結婚秘話 ④ 欧陽菲菲のLove is over（これは必聴!!!!）

このような愛らしい新副会長の小林 伸一をよろしく願います。また、室長は2011年に山梨で開催される全国研修会の会長にも就任しています。県士会活動も全研も会長や副会長のもと、盛り上げていきましょう。

21~22年度 山梨県理学療法士会 組織図



会員の皆様に向けて



甲府城南病院 高村 浩 司

このたび、副会長の責務を拝命しました高村です。私のような若輩者がこのような大役を仰せつかりとても困惑しております。若さだけが取り柄ですので、現任の谷村会長、前任の北澤副会長、古屋副会長をはじめとした関係諸氏のご功績によって発展してきた山梨県理学療法士会が衰退しないよう精進していく所存で

あります。

さて、現在理学療法士を取り巻く環境は急激に変貌を遂げています。100年に一度と言われる世界的な不況は、医療分野への影響も例外ではありません。このような時代に求められている理学療法士像はどこにあるのでしょうか。これからの理学療法士を担保していくには、国民(県民)からの信頼が得られるよう一層、質を高めていくことが大切だと考えます。そのためには、会員一人ひとりの自覚(日常の診療を大切にすること)と士会活動との調和と融合が不可欠だと思います。50年後、100年後に理学療法士が必要とされているために、士会活動における皆様の忌憚のないご意見とご理解・ご協力をお願い致します。

山梨県理学療法士会 副会長 高村先生のご紹介

紹介者：北村 哲也 (山梨リハビリテーション病院)

高村先生とのお付き合いは、私が十数年前に山梨温泉病院(現：山梨リハビリテーション病院)に就職したのが始まりでした。

何事にも謙虚で真摯に向き合うその姿勢は、当院スタッフの憧れであり、理学療法士としてもひとりの人間としても尊敬できる先輩でした。

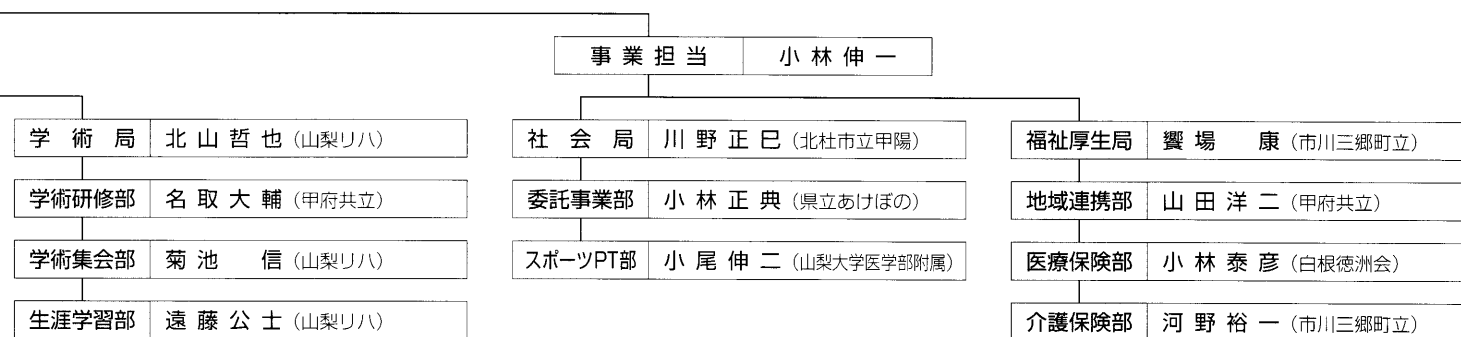
また、生涯学習部長・学術局長として長期に渡り山梨県士会を支えてきたという実績もあります。それと同時にその人柄は幅広い人脈を築き上げており、様々な専門家との交流があります。県士会業務ではいつも冷静に部長・部員への確かな指示を出し、スタッフが動きやすいように配慮してもらっています。その後の反省会(飲み会?)では、県士会業務に対する熱い気持ちや後進指導に対する助言を頂き、いつも私たちが勇気づけてくれています。

現在は甲府城南病院で勤務されていますが、ひとりひとりの患者様を大切に、セラピストとしてどうあるべきかを語りかけてくれる大きな背中が『今もこれからも私たちの目標です。』

監 事	石原 正文 (山梨大学医学部附属)
	田村 稔 (ノイエス)

代 議 員	谷村 英四郎・小林 伸一
-------	--------------

選挙管理委員会	中島 孝 (山梨厚生)
全国研修会実行委員会	小林 伸一 (巨摩共立)
法人化実行委員会	有泉 静佳 (県立中央)
表彰委員会	斎藤 智雄 (甲府城南)
40周年記念事業検討委員会	平山 雅雄 (春日居リハ)



平成20年度山梨県理学療法士会総会開催

* * *

平成20年度総会が、去る4月10日(金)甲州リハビリテーション病院大木記念ホール(石和町)において開催されました。

当日は総会員数500名に対し105名(委任状224通)の出席をいただきました。議長には、雨宮直樹先生(県立中央病院)と長田徹也先生(塩山市民病院)が選出され、提出議案が審議されました。また、役員改選も行われました。

提出された6議案はすべて原案どおり承認されました。



総会議事録

日時:平成21年4月10日(金)午後18時30分~20時 会場:大木記念ホール

議長:長田 雨宮 書記:吉田 武井 議事録署名:風間 秋山

総出席者105人、委任状224通、会員数500名、会則22条に基づき会員数の過半数の出席により本総会は成立した。



第1号議案 平成20年度事業決算報告

会長

県士会総会、新人教育プログラムの講義、協会、関東甲信越ブロック、県関連機関等の会議に出席。その他、慶弔、特別研修会出席

副会長

担当部局会議の開催・出席、理事会、山梨県リハビリテーション病院施設協議会総会へ出席

事務管理局

総務部 平成21年3月31日現在

会員動向の把握・諸手続き(会員数500名、施設数93)

士会員への事務連絡

慶弔関係の諸手続き(弔電4通、祝電6通)

理事会開催(計11回)

事務管理局会議の開催平成20年度交流会

財務部 平成21年3月31日現在

会費徴収:実徴収者数509名(内新入会員66名) 未納者数8名

会員証:クレジット付帯会員証発行者数435名(内新入会員58名)

協会本部協会費納入手続き

什器備品在庫目録・財産管理

広報局

広報部

1. 理学療法週間の活動(ホームページ・会報誌へ理学療法週間の記事を掲載)
2. 協会アンケート調査の返答
3. 「いきいき山梨ねりんピック2008」にて啓発活動の実施

日時:2008年9月27日(土)

場所:小瀬スポーツ公園

4. PTあ!を山梨県理学療法士会会員へ配布

会報部

1. 会報誌発行(年4回)
2. 企画会議(年4回実施) 編集会議(年3回実施)
3. 原稿依頼・編集作業

HP管理部

1. 部内会議(2回開催)
2. 士会ホームページ随時更新
3. 理事会にて情報収集

学術局

生涯学習部

プログラム

I-1	6月12日	参加人数66名	I-2	6月12日	参加人数66名
I-4	6月19日	参加人数64名	I-6	6月19日	参加人数63名
II-4	6月19日	参加人数56名	II-3	6月19日	参加人数52名
II-2	12月3日	参加人数52名	II-6	12月3日	参加人数54名
III-3	1月21日	参加人数50名	III-4	1月21日	参加人数50名
III-1	1月28日	参加人数45名			

学術集会部

第12回山梨県理学療法士会学術集会開催

日時：平成20年12月7日(日) 10時開演

場所：ホテルクラウンパレス甲府

内容：特別講演、一般演題35演題

参加者：247名(含非会員2名)

託児室利用者(児)：7名

学術研修部

学術研修会(年4回開催)

第1回学術研修会：「PNFについて」

第2回学術研修会：「四肢のマニユアルセラピー ～膝関節の評価と治療～」

第3回学術研修会：「理学療法士に必要な歩行の神経生理学」

第4回学術研修会：「しなやかなこころとからだをつくるコアリターンセッション ～動いて自分を発見しよう～」

社会局

委託事業部

1. 身体拘束廃止推進事業関係

20年度の身体拘束廃止専門相談員として、7名を推薦

1) 「身体拘束廃止推進専門相談員派遣事業」推進会議1回実施

2) 高齢者権利擁護等推進委員養成研修2回実施

3) 身体拘束派遣専門相談3回実施

2. いきいき山梨ねんりんピック2008

3. 地域リハビリテーション従事者研修会

4. 依頼事業

「平成20年度介護講座」

スポーツ理学療法部

スポーツ理学療法勉強会 3回実施

競技スポーツ 大会：3大会をサポート

チーム：7チームをサポート

講演・講習：外部依頼なし、内部研修1回実施

その他：いきいき山梨ねんりんピック

研修会：部員を対象に毎月2回実施

企画局

公開講座部 講座「賢い患者になりましょう」を開催

企画研修部 1. リスク管理に関する研修会

2. 臨床実習指導者研修会

調査研究部 1. 第1回アンケート

2. 公開講座アンケート調査

3. 臨床実習指導者研修会アンケート調査

4. 学会部アンケート調査

福祉厚生局

医療保険部 平成20年度診療報酬改訂の情報入手と士会員への配信、診療報酬に関する問い合わせへの対応等

介護保険部 平成20年度介護保険制度改訂に関する情報入手と配信等

地域連携部 理学療法相談窓口の対応、第9回地域理学療法研修会開催等

全国学術研修大会実行委員会

1. 会議関係：5回実施
2. 事業：県士会交流会にて開催説明、県士会会員に対してロゴマークの募集と決定
3. 視察：第43回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 北海道を視察

各部局

事務局 実行委員会の名簿・緊急連絡網作成、実行委員会議事録の作成、実行委員会出席、予算・出納帳管理

企画局 講演演者との折衝

広報・渉外局 大会ロゴマークの募集

法人化実行委員会

1. 私学文書課訪問
2. 新公益法人制度説明会出席
3. 全国都道府県理学療法士会法人化推進会議、並びに公益事業推進リーダー研修会
4. 調査情報収集

表彰委員会

日本理学療法士協会 協会賞

山梨大学医学部付属病院 石原正文先生 推薦

選挙管理委員会

会則第14条ならびに役員選挙管理規定第7条により理事会にて候補者を推薦

40周年記念事業検討委員会

委員の募集（現在3名）

収支報告 総会資料参照

第1号議案は、質疑なく拍手多数にて承認される。

第2号議案 平成20年度監査報告

平成20年10月16日 中間監査実施

平成21年4月6日 年度末監査実施

1. 監査内容

事業報告、会計報告並びに通帳、財産目録、什器備品目録について

2. 監査結果

- ・年間事業の執行は、順調に行われていたものと認める。
- ・決算報告書、会計帳簿等についての監査の結果、財産は適正に管理運営されていたものと認める。

3. 監査考察

- ・士会員が増加する中、各部局とも順調且つ積極的に事業が行われている。
- ・技術を中心とした研修会への参加者が多いが、技術研修以外の公開講座等への士会員の参加が少ないので、士会員の多くの参加を今後期待したい。
- ・年次予算の執行は順調に行われていて、よく整備されていた。
- ・協会の法人化に向けての動向や士会の法人化について今後の方向付け、全国学術研修大会に向けての取り組み等、引き続き、協会との連携や士会員の意向に沿って、一層の事業執行をお願いしたい。

第2号議案は、質疑なく拍手多数にて承認される。

第3号議案 役員改選（会長・副会長・監事）

立候補者なく、役員選挙管理規程第7条に基づき、理事会にて推薦された候補者が報告される。

推薦候補者

会長	谷村 英四郎 先生	(湯村温泉病院)
副会長	小林 伸一 先生	(巨摩共立病院)
	高村 浩司 先生	(甲府城南病院)
監事	石原 正文 先生	(山梨大学医学部付属病院)
	田村 稔 先生	(介護老人保健施設ノイエス)

第3号議案は、質疑なく拍手多数にて承認される。



第4号議案 平成21年度事業計画・予算(案)審議

「事業計画」

事務局	総務部	会員の登録管理、等
	財務部	会費徴収、等
広報局	広報部	PT週間の啓発活動、等
	会報部	会報誌発行（年4回）
	HP管理部	士会ホームページ管理部会議 年4回 士会ホームページ随時更新
学術局	生涯学習部	3年間で18テーマ
	学術集会部	第13回山梨県理学療法士会学術集会開催 平成21年12月6日(日)予定
	学術研修部	年間4回の学術研修会を企画
社会局	委託事業部	高齢者権利擁護等推進事業 いきいき山梨ねんりんピック2009 地域リハビリテーション従事者研修会
	スポーツPT部	勉強会、研修会、講演・講習、競技スポーツへのサポート
企画局	公開講座部	一般市民に向けた講演会を予定
	企画研修部	士会員を対象とした2回の研修会を予定
	調査研究部	アンケート調査の実施
福祉厚生局	医療保険部	診療報酬、医療保険制度に関する山梨県士会員への情報提供
	介護保険部	介護保険制度改定に関する情報配信、等
地域連携部	第10回地域理学療法研修会開催予定、理学療法相談窓口の対応	
全国学術研修大会実行委員会	三重の視察（平成21年10月2～3日）、広報活動 予算・会場・日程検討、等	
法人化実行委員会	新しい法律下での動向調査、士会活動の提案	
表彰委員会	協会賞推薦、及び他機関からの表彰の推薦依頼に関して検討する	
40周年記念事業検討委員会	前記念事業を参考に資料・情報収集	

事業案・予算案とも拍手多数にて承認される。

質疑応答

健康科学大学 金先生：研修会にて健康科学大学、山梨大学医学部、山梨県理学療法士会の協力で解剖見学の開催の要請。保険、法律制度、責任の所在についてはどうするか。

会長：今後、検討し、開催に向けてPR等も協力していく方向。

帝京科学大学 中山先生：会費、決算について、平成20年度と21年度決算の差の理由を知りたい。

財務部：会員証での支払いが増加したためである。今後は全員会員証での支払いにしていく方針。

帝京科学大学 中山先生：スポーツPT部担当の日常について、委託事業担当部との差の理由を知りたい。

社会局：スポーツPT部担当については、頻繁に活動しているため、委託事業担当部と額をそろえるのは予算の関係上困難。当面はこのままで進めていく方針。



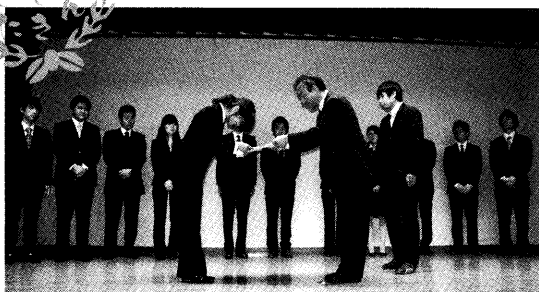
第5号議案 第38回 代議委員会提出議題について

「提案議題」協会法人化について明確な説明を求める。

第6号議案 その他 討議事項特になし



新人教育プログラム修了者38名



平成20年度の新人教育プログラム修了者は38名でした。総会席上において、谷村会長より『新人教育プログラム修了認定書』が授与されました。おめでとうございます。ここから生涯学習基礎プログラム・専門理学療法士へと目指してください。

各部 活動報告

福祉厚生局発



平成20年度

『第9回地域理学療法研修会』を終えて

平成21年2月26日(木)、山梨県立文学館にて第9回地域理学療法研修会が開催されました。今回のテーマは「地域における理学療法の可能性」と題しサブテーマに「～地域理学療法の変遷と展望～」を掲げ、備酒伸彦先生を招いての講演となりました。

本講演の中で、先ずこれから来る医療・介護分野での法改正について情報と考え方についてのアドバイスがあり、その後、先生ご自身の体験を中心に私たち理学療法士へ熱いメッセージを頂きました。

先生は「過去を美化するのが一番嫌い」とおっしゃられる中で、「初めて勤務された当時は、1部屋に40床ある環境だったのが、ここ25年ほどで個室が当たり前の時代へと変化した。これらは私たちの先人が勝ち取ってきた証であり、常に昨日より今日の環境は良くなっている。」と教えていただきました。

そして、これからの時代は理学療法士がリーダーとなり、地域へ進出していくことが必要となっている

ことを指摘されました。そのなかで、人の生活機能は身体機能のみによって決まるものではなく、適切なケアや意欲といったものが掛け算式に関与しているなどの広い視点が我々にとって重要であることを、先生独特の軽快な話術で楽しく教示していただきました。

2時間ほどの講演でしたが、私たち理学療法士が自信と希望を持つことができる大変貴重な講演となりました。



備 進 神

巨摩共立病院 三枝直人

●問い合わせ先：前福祉厚生局地域連携部 笠井

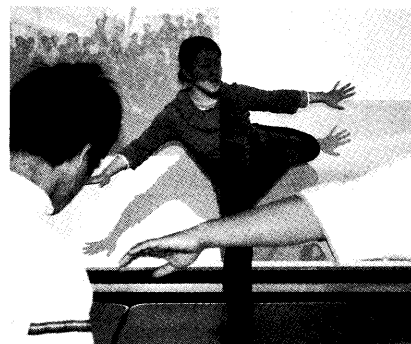
(塩川病院リハビリテーション室内 TEL 0551-42-2221)

学術局発

平成20年度

第4回学術研修会報告

平成21年2月15日(日)に平成20年度、最後の研修会をピラティススタジオ with blue 代表の樋野真紀子先生をお呼びしまして、「しなやかなこころとからだをつくるコアリターンセッション～動いて自分を発見しよう～」というテーマにて実技を中心に研修会を行って頂きました。参加者はとても多く、143名の参加がありました。今回、自分の体と向き合うなかで、動きをイメージすることの大切さをとても実感しました。先生の声かけと共に、自分の体に変化が起こってくることを体験し、研修会場にいた参加者が一体となって動いていく様子が伝わってきました。言葉の掛け方ひとつで、身体へ与える影響がとても大きく影響することを改めて感じました。研修会中、常に体を動かしていたこともあってあっという間に時間が過ぎ、とても充実した研修会となりました。



甲府城南病院 宮野将貴

●問い合わせ先：前学術局学術研修部 斎藤

(甲府城南病院リハビリテーション科内 TEL 055-241-5811)

理学療法に関する内容の改定部分を記載しました。詳細は厚生労働省ホームページ等
 でご確認してください。

厚生福祉局 介護保険部

1、訪問リハビリテーション

◆リハビリテーション費 305単位/回

- *1回につき20分以上のリハを行なった場合に算定
- *週6回まで算定可

◆サービス提供体制強化加算(新設) 1回に6単位

- *PT,OT,STのうち勤続年数3年以上の者が1名以上
- ◆介護老人保健施設で通所リハを受けている利用者は、通所リハ終了後1月に限り、当該介護老人保健施設の配置医師がリハ計画を作成し、訪問リハを提供することが可能

◆短期集中リハビリテーション実施加算

- 退院(所)又は認定日から1月以内 340単位/日(週2回以上・40分以上/回)
- 1月超3月以内 200単位/日(週2回以上・20分以上/回)

2、訪問看護

- ◆PT等による訪問が、看護師による訪問の回数を上回るような回数制限がなくなる
- ◆看護師等が確保できない等のやむを得ない場合、管理者として理学療法士等が可能
- ◆サービス提供体制強化加算(新設) 1回につき6単位(算定条件あり)

3、通所リハビリテーション

- ◆所要時間1時間以上2時間未満(新設)
- *個別リハビリ実施加算は算定不可
要介護1 270単位
- *個別リハを20分以上実施した場合算定可
要介護2 300単位 要介護3 330単位
要介護4 360単位 要介護5 390単位
- ◆利用者数に応じた所定単位数の再編
- ◆理学療法士等体制強化加算 30単位/日
- *所要時間1時間以上2時間未満の通所リハのみ、常勤かつ専従の理学療法士等を2名以上配置している
- ◆リハビリテーションマネジメント加算 230単位/月
- *月8回以上通所リハビリを行なった場合に算定(8回以下でも算定可能な場合あり)
- ◆短期集中リハビリテーション加算
退院(所)又は認定日から1月以内 280単位/日(週2回以上・40分以上/回)
- 1月超3月以内 140単位/日(週2回以上・20分以上/回)
- 3月超 廃止
- ◆個別リハビリテーション実施加算 80単位/日

*退院(所)又は認定日から3月超に対して、月13回を限度とする

*通所リハを終了する月、高次脳機能障害、先天性又は進行性の神経・筋疾患を有する利用者、月8回以下の通所であっても効果的なりハビリテーションの提供が可能であると判断された場合は、リハビリテーションマネジメント加算が算定されていない場合も個別リハ算定可

◆認知症短期集中リハビリテーション実施加算(新設) 240単位/日

*退院(所)又は通所開始日から3月以内、週2回限度、1回20分以上

4、短期入所療養介護

- ◆個別リハビリテーション実施加算(新設) 240単位/日
- *1日20分以上の個別リハビリテーションを行った場合に算定可

5、介護老人保健施設

- ◆リハビリテーションマネジメント加算が廃止
- ◆短期集中リハビリテーション実施加算 240単位/日
- *入所日から3月以内、週に概ね3日以上、1回20分以上
- ◆認知症短期集中リハビリテーション実施加算 240単位/日
- *入所日から3月以内、週3日限度、1回20分以上

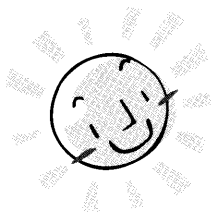
6、介護療養医療施設

- ◆理学療法(Ⅱ)の施設基準が廃止され2区分となる
理学療法(Ⅰ) 123単位/回
理学療法(Ⅱ) 73単位/回

- ◆日常生活活動訓練加算の廃止
- ◆リハビリテーションマネジメントの廃止
- ◆摂食機能療法 208単位/回
- *1回30分以上、月4回まで
- ◆短期集中リハビリテーション実施加算 240単位/日
- *入院日から3月以内、週に概ね3日以上、1回20分以上
- ◆認知症短期集中リハビリテーション実施加算 240単位/日
- *入院日から3月以内、週3日限度、1回20分以上

7、福祉用具、住宅改修

- ◆仰臥位から座位への体位の変換を行えるものを給付の対象に含める。階段移動用リフトを給付の対象に含める(要手続きあり)。便の自動吸引されるものも給付対象とする。認知症徘徊感知機器にベッドや布団等を離れたときに通報するものも含む。引き戸等への扉の取替えに「引き戸の新設」を含む(費用低廉に抑えられる場合)



この日何の日? 気になる日!

皆さんは**7月17日**が何の日か知っていますか? 大切な人の誕生日?

そういう人もいるでしょう。我々理学療法士にとっても大切な日なのです。

1965年、わが国に理学療法士の資格制度が誕生しました。現在に至るまで理学療法の知識と技術は、より高度に進歩し医療サービスの水準も確実に向上しています。人口の高齢化、医療の高度化に伴いリハビリテーション対象者の増加や保健・福祉分野での新たな需要の拡大など、理学療法士の重要性はますます高くなると考えられます。しかしながらこのような私たちの役割は、いまだ一般の方々に十分に理解されていない面も事実です。

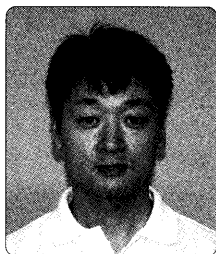
このような観点により、日本理学療法士協会では、専門職としての責任において、必要な情報をより適切に社会へ還元することで、国民全体の保健・医療・福祉の向上に寄与したいと考えています。

そこで、協会が設立された7月17日を『**理学療法の日**』と定め、この日を基準とする1週間を『**理学療法週間**』として、全国各地において種々の行事を開催しています。我々も理学療法の社会的認識を高めるとともに、これからのリハビリテーションのあり方について考えてみてはいかがでしょうか。



●問い合わせ先：石和温泉病院理学療法室内 青柳 彰 浩 TEL 055-263-0111

事務局変更手続きについて



事務管理局変更のお知らせ

平成21年度より、事務管理局が変更となりました。

会員データに変更（異動・休会・復会・退会）がありましたら、届出が必要となります。士会ホームページに、各種届出用紙があります。郵送にて、早急に手続きを行って頂けますようお願い致します。

新メンバーで、事務管理局として迅速な対応が出来るよう努力していきたいと思っておりますので、今後も、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

●問い合わせ先：事務管理局 局長 齋藤 / 総務部 高石 / 財務部 佐藤
〒400-0831 甲府市上町 753-1
TEL : 055-241-5811 FAX : 055-241-8660
E-mail : yamanashi.pt.jimu@gmail.com(士会事務管理局専用アドレス)



事務管理局より

「団体総合補償制度費用保険」についてのご説明

「団体総合補償制度費用保険」の契約継続が完了いたしました。つきましては、会員の皆様方に下記の内容をご理解いただき、万が一の時に役立てていただきたいと思います。

保険の種類

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 死亡補償
(800万円) | 会の活動中(往復途上を含む)の役員・一般会員の方々や会主催行事に参加中の方々が傷害または特定疾病を原因とする身体障害により死亡したときに保険金をお支払いいたします。 |
| <input type="checkbox"/> 後遺障害補償
(最高800万円) | 会の活動中(往復途上を含む)の役員・一般会員の方々や会主催行事に参加中の方々が傷害または特定疾病を原因とする身体障害により後遺障害を残されたとき、その程度により保険金をお支払いいたします。
ただし、その原因が疾病の時は障害厚生年金の基準を参考にしてお支払いいたします。 |
| <input type="checkbox"/> 療養補償(入院)
(入院日額5,000円) | 会の業務中(往復途上を含む)の役員・一般会員の方々や会主催行事に参加中の方々が傷害または特定疾病を原因とする治療のために入院したとき、その入院日数に対し180日(または730日)を限度として保険金をお支払いいたします。 |
| <input type="checkbox"/> 療養補償(通院)
(通院日額3,000円) | 会の活動中(往復途上を含む)の役員・一般会員の方々や会主催行事に参加中の方々が傷害または特定疾病を原因とする治療のために通院したとき、その通院日数に対し事故発生日から180日を限度として、90日分までの保険金をお支払いいたします。 |

<保険金をお支払いてきない主な場合>

- ☆ 保険契約者・被保険者・被補償者の故意または重大な過失
- ☆ 被補償者の犯罪行為または闘争行為
- ☆ 被補償者の麻薬、あへん、大麻または覚醒剤、シンナーなどの使用
- ☆ 頸部症候群(むちうち症)または腰痛で自覚症状伏しかなないもの
- ☆ 被補償者のめめ、靴擦れ
- ☆ 被補償者が補償開始の直前12ヶ月以内に治療を受け、または治療のため医師の処方に基づく服薬をしていた疾病と因果関係のある特定疾病による身体障害

<万一、事故がおこったら>

- ・ 事務管理局(甲府城南病院 理学療法室内) 055-241-5811 及び
- ・ 事故連絡先 年中無休・24時間サービス 0120-091-313

上記エース保険損害サービスセンターまでご連絡下さい。

保険金支払いに該当する事業が生じた場合には、すみやかに取扱代理店またはエース保険損害サービスセンターまでご通知下さい。通知受領後、保険金の請求に必要な手続きをお知らせいたします。

所定の手続終了後、通常は30日以内に保険金をお支払いいたします。

なお、補償適用の原因発生日から30日以内に書面によるご通知がない場合は、保険金をお支払いできないことがありますのでご注意ください。

【お問い合わせ先・取扱代理店】

国際保険株式会社 担当：志摩政裕

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

TEL 03-3354-5931 FAX 03-5363-5940

お知らせ

生涯学習部主催|新人教育研修会について(ご案内)

1. テーマ 新人教育プログラム・パートⅠ
 - I-1 「協会の組織と機構・生涯学習システムについて」 谷村 英四郎 先生(湯村温泉病院)
 - I-2 「臨床における心構え(職業倫理・管理運営)」 古屋 正樹 先生(石和温泉病院)
 - I-4 「臨床の現場におけるリスク管理(理学療法士・作業療法士法および関係法規含む)」
小林 伸一 先生(巨摩共立病院)
 - I-6 「症例検討Ⅰ(整形外科疾患における)」 橋田 薫 先生(恵信甲府病院)
2. 日 時 平成21年6月9日(火) 受付開始 17:30～
I-1 18時00分～19時20分 I-6 19時30分～20時50分
平成21年6月16日(火) 受付開始 17:30～
I-2 18時00分～19時20分 I-4 19時30分～20時50分
3. 会 場 石和スコレーセンター(図書館2F:視聴覚室)
4. 受講者理学療法士(日本理学療法士協会会員)
5. 費用1単位 500円となります。(お釣りのいらぬようご用意下さい)
6. 問い合わせ先 山梨リハビリテーション病院 理学療法士 遠藤・小林(Tel: 0553-26-3030)
※生涯学習手帳を必ずご持参下さい。

理学療法士講習会(旧:現職者講習会)のご案内

この度、(社)日本理学療法士協会が主催する理学療法士講習会を山梨県で開催することが決定いたしました。「日本理学療法士協会ニュースNo. 258(4月号)」にも同様の案内を掲載させて頂いております。本講習会は定員制となっておりますが、興味をお持ちの方には是非ご参加いただければと思っています。よろしく願いいたします。

- ・講習会名称:「脳卒中片麻痺者の評価と治療」
 - ・開催日時:平成21年10月16日(金)～18日(日)
 - ・開催場所:山梨リハビリテーション病院
 - ・講 師:北山哲也(山梨リハビリテーション病院) 伊藤克浩(山梨リハビリテーション病院)
高村浩司(甲府城南病院)
 - ・講習会内容
脳卒中片麻痺者への評価と治療に対して様々な視点からの知識・技術を習得し、臨床で応用できるようになることを目的とする。徒手的誘導を行う際に自分の身体の使い方やどのようなことを手から感じなければいけないのかということを実技練習などで実感してもらう。VTRによる症例検討(ワークショップ)なども取り入れる。
 - ・受講費:21,000円
 - ・定 員:26名
 - ・申込先と申込方法:協会が定める方法に準ずる(官製往復ハガキにて)
詳細は「日本理学療法士協会ニュースNo. 258(4月号)」をご参照ください。
〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松855
山梨リハビリテーション病院 理学療法課 北山哲也 宛
 - ・申込締め切り:7月30日(必着)
- 問い合わせ先:山梨リハビリテーション病院 北山哲也 ktetsu@eps4.comlink.ne.jp

第1回学術研修会(イントロダクション)

(200人) 合計3日予定。

- 1日目 日 時：平成21年6月23日(火) 受付：18:00～
第1部 18:30～19:30 第2部 19:45～20:45
会場：スコレーセンター 1階 大会議室
テーマ：第1部「SJFについて」 第2部「研究方法について」
講師：第1部 甲府脳神経外科病院 北澤 澄 先生
第2部 健康科学大学 石黒 友康 先生
- 2日目 日 時：平成21年7月9日(木) 受付：18:00～
第1部 18:30～19:30 第2部 19:45～20:45
会場：スコレーセンター 1階 大会議室
テーマ：第1部「AKA(博田法)について」 第2部「スポーツ理学療法について」
講師：第1部 恵信甲府病院 橋田 薫 先生
第2部 山梨大学医学部附属病院 小尾 伸二 先生
- 3日目 日 時：平成21年7月16日(木) 受付：18:00～
第1部 18:30～19:30 第2部 19:45～20:45
会場：スコレーセンター 1階 大会議室
テーマ：第1部「ボバースコンセプトについて」 第2部「呼吸理学療法について」
講師：第1部 山梨リハビリテーション病院 伊藤 克浩 先生
第2部 甲府共立病院 山田 洋二 先生

受講者：士会所属理学療法士、医療・福祉機関に属する職員

費用：無料

問い合わせ：甲府共立病院 リハビリテーション科 名取大輔

TEL：055-226-3131

その他：新人教育プログラム トピックス(I-5・II-5・III-5)又は、
基礎プログラム1単位に認定されるので生涯学習手帳の持参を忘れずに。

第2回学術研修会

日 時：平成21年9月5日(土)～9月6日(日)
会場：健康科学大学(確認中)
講師：吉尾 雅春 先生
テーマ：解剖学的視点から見た理学療法

第3回学術研修会

日 時：平成22年1月17日(日)
会場：ベルクラシック甲府(確認中)
講師：森岡 周 先生
テーマ：認知運動療法・最近のトピックス

●問い合わせ先：学術局学術研修部 名取大輔(甲府共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-226-3131)

第13回山梨県理学療法士会学術集会のご案内

●日 時：平成21年12月13日(日) 10:00～ ●場 所：ホテルクラウンパレス甲府

●テーマ：未 定 ●特別講演講師：長崎大学医学部保健学科教授 沖田 実 先生

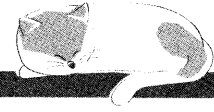
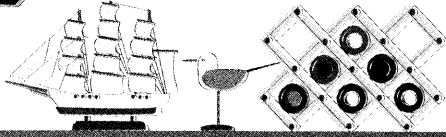
*本年度は第2日曜日です。例年と日程が異なります。ご注意ください。

●問い合わせ先：学術局学術集会部 菊池 信(山梨リハビリテーション病院理学療法課内 TEL 0553-26-3030)



会員のひろば

interview



山梨福祉総研 代表取締役・医学博士 小林 晴 名 先生

【連絡先】 小林晴名 株式会社 山梨福祉総研
〒400-0116 山梨県甲斐市西八幡 903
電話：055-279-2510(代表) / 090-1466-5648 (9:00~18:00)

【略歴】
〔学歴〕 昭和59年3月：東京衛生学園専門学校 卒業
平成10年9月：Michigan 大学 老年学教室
平成13年4月：山梨医科大学(現山梨大学医学部) 第2解剖学教室 (平成15年3月まで)
平成15年4月：山梨大学大学院医学工学総合教育部 医科学修士課程 入学 泌尿器科学講座
平成17年3月：山梨大学大学院医学工学総合教育部 医科学修士課程 修了(医科学修士)
平成17年4月：山梨大学大学院医学工学総合教育部 先進医療科学専攻博士課程 入学
平成21年3月：山梨大学大学院医学工学総合教育部 先進医療科学専攻博士課程 修了(医学博士)

〔職歴〕 昭和59年4月：春日居温泉病院(現春日居リハビリテーション病院) (昭和62年2月まで)
昭和63年7月：青沼整形外科医院
平成 2年2月：貢川温泉病院(現貢川整形外科病院) 理学療法室 (平成14年3月まで)
平成15年7月：特定非営利活動法人 山梨排泄問題を考える会 理事長 (平成17年6月まで)
平成16年2月：訪問マッサージかのん(訪問マッサージ事業) 創業
平成17年2月：株式会社 山梨福祉総研設立 代表取締役社長

Q 医学博士号をおとりになったとお聞きしましたが、どんな研究をしてきたのですか？

A 博士課程では過活動膀胱(Over Active Bladder : OAB)に対する理学療法の有効性の検証研究をしてきました。主要内容について簡単に説明すると、OABに対する一般的な薬物治療(抗コリン薬投与単独での治療成績)と比較して、薬物治療と理学療法等の行動療法を併用した場合の治療成績に有意差が認められるかを検証する研究です。OABに対する抗コリン薬の有効性には十分なエビデンスが示されている反面、副作用として唾液分泌減少や便秘などがあり、唾液分泌減少による口内乾燥は高度なものになれば摂食障害を引き起こし、更に腸管運動抑制による便秘の出現や、高齢者に対する長期投与の場合には、加齢による脳血管関門の機能低下のため、抗コリン薬が脳内のアセチルコリン系を抑制する事による認知機能の低下や眠気といった、QOLに大きく影響する症状の出現が危惧されています。そこで日本排尿機能学会ではOAB診療ガイドラインの中で、OABの治療は薬物治療のみに依存せず、副作用

がなく低侵襲な他の一次治療、あるいは薬物治療による効果不良例に対する二次治療として行動療法が重要と述べているのですが、行動療法と薬物治療の併用は薬物治療単独と比較した優越性について必ずしも一定の見解が得られていない事から、理学療法の有効性を証明する好機となればと考えました。

Q 何故泌尿器科に着目したのですか？

A 私は昔から人と同じ事をするのが不得意でした。希望した大学の入試に落ちてから何の考えもなく理学療法士となり、真摯に患者と向き合うこともせず漫然と過ごしてきたある日、ふと日々研鑽を積んできた同期の友人達と自分との間に、とても大きな違いが存在する事に気が付き、一個人として言い様のない恐怖と焦燥を感じました。また時を同じくして当時アルバイトをしていた高齢者施設から「新人のPTを雇用するので〇日まで結構です」と一方的に解雇を言い渡されました。積極的に施設の運営について意見を求められ、一専門職としての職域を超えたスタンスで、認められ求められていると誤認していた私には、とても大きな出来事でした。

そこで強く思ったのは「求められる、必要とされる専門職ではなく人になろう」でした。その後、周囲から笑われる位、様々な講習・研修会に出席しましたが、そんな中で辿り着いたのが泌尿器についての学びでした。きっかけは泌尿器についての勉強を重ねるに連れ、それまで自分が泌尿器に起因する疾病やQOL 阻害因子について何一つ知らずに過ごしてきた事を知った事で、より深く学びたいと思った事でしょうか？ 皆さんは日々接する患者さん方のADL 自立に向けたリハビリテーションに関わりながら、患者さんが実際どの様に排尿や排便をされているのか観察や評価はされていますか？ ポータブルトイレや一般の便座などが快適な排尿・排便の阻害因子となる可能性はないのでしょうか？ これら以外にも本当に沢山の疑問を持つ事ができた、そしてそれらの疑問について共に学ぶ仲間にも恵まれた事も大きな理由の一つです。

Q なぜ、事業を立ち上げようと思われたのですか？

A 前述したように「求められる、必要とされる専門職ではなく人になろう」との思いがあったからだと思います。病院という組織の中で、医師とのコミュニケーションにも限界を感じていましたし、自分の思いを形にするには復学、起業という形をとるのは自然な道のりでした。とは言え会社を立

ち上げて4年目を迎え、より大きな事業展開を望めるようになったのは一も二もなく素晴らしい仲間にも恵まれたからです。

Q 若い後輩へのメッセージをお願いします。

A 既存の学びに囚われず積極的に他職種の専門領域も学ぶ姿勢を大切にしてください。理学療法士の潜在的な能力を表現する場は無限だと思います。人生に於いて「求められる、求められ続ける人」として生きる為に必要な学びは、何時スタートしても遅い事はないでしょう。しかし臨床の場では、一日でも早い「気づき」と「行動」の両立を求められます。理学療法士としての仕事を通じて、友人や諸先輩、職場環境、患者さん方との関わりの中から、より大きな生き方を学ぶ姿勢を持ち続けてください。その上で理学療法士という仕事は、自身の人生を磨く道具であるという心構えで、ひとりひとりの患者さんと向き合ってください。

皆さんの無限な可能性について、何時でも相談に乗ります。是非、遊びに来てください。



原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えています。

テーマは自由です。ご投稿、お待ちしております。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

●次回 (No. 123 9月中旬発行) 締め切りは、8月下旬です。

問い合わせ先 広報局 会報部 清水真治 (石和温泉病院 理学療法室内 TEL 055-263-0111)

E-mail sinji0012312@yahoo.co.jp



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

リレーエッセイ

～途絶えることのない
バトンを君に～

『リレーエッセイ』とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので800字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

今までの Supporters にあった「会員の広場」と違い、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

Part4-1

笛吹中央病院 宮下祐輔 先生

桜舞い紫外線が気になり始めた今日この頃。みなさんどうお過ごしですか？ 笛吹中央病院の宮下です。私の病院は笛吹市石和町の笛吹川沿いで、花火大会ではとてもきれいに見える場所にあり、急性期150床で4年目の新しい病院です。リハビリスタッフだけでも24名と病床数に対して多く、とてもにぎやかで働きやすい職場です。

また4月から新しい職員が入職しました。リハビリではPT2名、OT2名の計4名の新しい仲間が増え、総勢28人とより一層活気溢れる職場となりました。

話は変わりまして、暖かくなり日々過ごしやすくなってきましたが、花粉も厳しくつらい季節にもなってきました。そこで最近とんでもないものを手に入れました。この原稿を読んでいる皆様とは、タイムラグがあるかもしれませんが、なんと空気清浄機を購入したのです。外ではもちろん、家の中でも花粉と死闘を繰り広げていた自分としては、神様からの贈り物かと思ったくらいでした。またデリケートな部分もあり、埃やダニの死骸などにも悩まされていたので、今ではとても快適に過ごしています。

まだ字数が足りないみたいなので、最近始めたことを書こうと思います。最近ゴルフっていう紳士なスポーツを始めてみました。まだコースに行ったことはなく、打ちっぱなし練習までなのですが、これがとても面白いです。基本的には目の前に球が落ちるか、スライスするのですが、まれに真っ直ぐ飛ぶときはとても気持ちがいいです。結構飽き症なのですが、続きそうな感じです。ただ練習後にある腕の筋肉痛はきついです。みなさんもゴルフ初めてみてはいかがでしょう。

次にバトンを受け取ってくれる先生は我が帝京医療福祉専門学校のアイドル、中川先生です。とても魅力的なエッセイが読めると思うので、乞うご期待！

次回紹介者は『帝京医療福祉専門学校の中川和子先生』です。宜しくお願いします。

Part4-2

白根徳洲会病院 杉原大輔 先生

今回、長田先生よりバトンを頂きました第4走者を担当します白根徳洲会病院の杉原です。毎回楽しく読ませて頂いているリレーエッセイですが、会員500人以上の士会の中でこんなに早く選んで頂けるとは思っていませんでした。まだ2年目で、頭や腕は未熟ですが足だけには自信がありますので、バトンを落とさないようにしっかりリレーさせていただきます。

突然ですが、皆さんは南アルプス市に遊びに来たことがありますか？東郡地域、郡内の方々はほとんど立ち寄った事がないのではないのでしょうか。確かに有名な所はありませんが、芦安の温泉・伊奈ヶ湖・御勅使南公園といったのんびりできる所があります。私が勤めている病院は、そんな南アルプス市のほぼ中央にあります。建物は9階建ての300床で、許可病床数は199床の病院です。

建物は大きいのですが職員数が200名程度と少なく、とくに男性職員が少ないのが寂しいです。スポーツ好きな私は、病院のフットサルチームに入って試合にも参加しますが、試合メンバーが5人程度なので交代ができないために、最後には青い顔して歩いているメンバー（私）もいます。もしも試合で対戦することになりましたら、どうぞお手柔らかにお願いします。

若く経験の浅い私は、仕事もスポーツも何でも失敗を恐れずに、目一杯やってみようと思います。今の頭は渋柿で好かれませんが、士会で刺激をもらいあんぼ柿になりたいと思います。

拙い文章ではごさいましたが、なんとかバトンを次の先生に継げたようです。宜しくお願いします。ハイ！

次回紹介者は『山梨厚生病院の種市隆司先生』です。宜しくお願いします。

編集後記

初夏の風に肌も汗ばむ頃、今年度からまた2年間会報部部長をさせていただきます清水真治です。若輩者ですが、よろしくをお願いします。

さて、新人の方は就職して2ヶ月がすぎ、仕事にも慣れてきた時期でしょうか。

私は、まだ五月病（新型インフルエンザ？）が抜け切らず同僚のみんなに迷惑をかけております。

役員が新体制となり谷村会長・小林副会長・高村副会長を始め、新しい風（役員）が山梨県士会に吹かれ、我が会報部員にも『斬れる水上』・『頼れる中込』が新しく入隊しました。

県士会員も若い年代の方々が増えてきています。みなさまの若い感性や行動力でこの山梨県士会を盛りたてていきましょう。

会員のみなさまが楽しんで読んでいただけるよう、先輩方のこれまで以上のご支援とご助言を賜り、Supportersも日々進化していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いたします。（清水真治）

- 発行 ● 山梨県理学療法士会
- 代表 ● 谷村 英四郎
- 企画・校正 ● 清水 文彦 清水 真治 水上 卓 中込 恵美
- 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ
- 会報部 ● 〒400-0026 山梨県笛吹市石和町八田 330-5

石和温泉病院 理学療法室内

Tel 055-263-0111 Fax 055-263-2118 E-mail sinji0012312@yahoo.co.jp